

公  
開  
講  
演

# 神秘化された森と 環境保護運動

ドイツの事例より

Mystifikation des Waldes und Umweltaktivismus in Deutschland



現代ドイツ民俗学の奇才  
アルブレヒト・レーマン氏  
連続講演会

## ▶ 2010年9月19日(日) 東京大学 駒場キャンパス

講演/アルブレヒト・レーマン (ハンブルグ大学終身教授)「神秘化された森と環境保護運動—ドイツの事例より」  
コメント/篠原 徹 (滋賀県立琵琶湖博物館館長、日本民俗学会会長)  
主催/日本民俗学会・東京大学グローバル地域研究機構 (ドイツ・ヨーロッパ研究センター)

## ▶ 2010年9月25日(土) 国立民族学博物館

講演/アルブレヒト・レーマン (ハンブルグ大学終身教授)「神秘化された森と環境保護運動—ドイツの事例より」  
コメント/岩槻 邦男 (兵庫県立人と自然の博物館館長、東京大学名誉教授)  
主催/日本民俗学会 共催/国立民族学博物館

参加の方法・詳細は裏面をご覧ください



# 神秘化された森と

# 環境保護運動

## ドイツの事例より

日本では「環境先進国」として知られるドイツ。  
人びとはどのように環境保護運動に「動員」されていったのか。  
それは「幻想」なのか？  
民俗学の視角から、現代のフォークロア＝神話化のプロセスを問う！

## 9.19 東京大学 / 駒場

日時● 2010年9月19日(日) 13:30～16:30(開場13:00)

場所● 東京大学駒場キャンパス13号館・1323教室

プログラム

- 13:30 開会のあいさつ
- 13:40 講演：アルブレヒト・レーマン
- 15:15 コメント：篠原 徹（滋賀県立琵琶湖博物館館長、日本民俗学会会長）
- 15:40 質疑応答/司会：岩本 通弥（日本民俗学会、東京大学）
- 16:20 閉会のあいさつ：渡邊 欣雄（日本民俗学会国際交流委員長、中部大学）

言語● 講演はドイツ語。日本語字幕を放映します。コメント・質疑応答は通訳あり。

参加● 入場無料・事前申込不要。当日会場へお越し下さい。

懇親会● 終了後、大学内で懇親会を開催します。会費5000円(当日支払)

**懇親会は事前申込が必要です(講演会のみ参加の場合は不要)。**

[事前申込方法]

Eメールで、「9月19日懇親会参加希望」、住所・電話番号、氏名(フリガナ)をご記入のうえ、[fsj.sympto2010@gmail.com](mailto:fsj.sympto2010@gmail.com) までお申し込み下さい(先着順)。

## 9.25 国立民族学博物館

\*講演内容は9月19日と同一

日時● 2010年9月25日(土) 13:30～16:30(開場13:00)

場所● 国立民族学博物館 第5セミナー室

プログラム

- 13:30 開会のあいさつ：森明子(国立民族学博物館)
- 13:40 講演：アルブレヒト・レーマン
- 15:15 コメント：岩槻 邦男(兵庫県立人と自然の博物館館長、東京大学名誉教授)
- 15:40 質疑応答/司会：岩本 通弥(日本民俗学会、東京大学)

言語● 講演はドイツ語。日本語字幕を放映します。コメント・質疑応答は通訳あり。

参加● 入場無料。**9月25日講演会は事前申込が必要です。**

[事前申込方法]

Eメールで、「9月25日講演会参加希望」、住所・電話番号、氏名(フリガナ)をご記入のうえ、[fsj.sympto2010@gmail.com](mailto:fsj.sympto2010@gmail.com) までお申し込み下さい(先着順)。

9月19日懇親会・9月25日講演会のお申し込み先、全てのお問い合わせ先●

[fsj.sympto2010@gmail.com](mailto:fsj.sympto2010@gmail.com) (日本民俗学会)

### アルブレヒト・レーマン (Albrecht Lehmann) 氏



1939年生まれ。ドイツ・ハンブルグ大学終身教授。レーマン氏は語りや自伝の収集を通じ、戦争引き揚げ者・自然環境・労働者などの主題に取り組んできました。著書に『ある労働者村の生活』、『語りの構造とライフコース—人生・自伝研究』、『心ならずも異国を棲家として—1945-1990年西ドイツの難民と故郷追放者』、『人間と樹木—ドイツ人とその森』、『経験について話すということ—語りの文化科学的意識分析』など。このうち『人間と樹木』は、『森のフォークロア—ドイツ人の自然観と森林文化』(法政大学出版局)として邦訳出版されています。

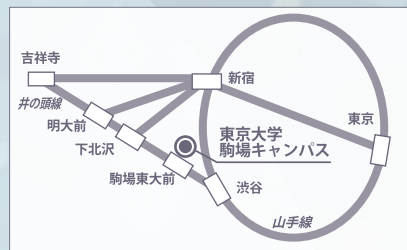
### 篠原 徹氏

1945年生まれ。京都大学理学部植物学科卒業、京都大学文学部史学科考古学専攻卒業、岡山理科大学助手・助教授、国立歴史民俗博物館助教授・教授・副館長を経て、琵琶湖博物館館長。専門は民俗学・生態人類学で、人と自然のかかわりを人間側からの視点で追究。著書に『海と山の民俗自然誌』(吉川弘文館)、『自然を生きる技術』(吉川弘文館)など。

### 岩槻 邦男氏

1934年生まれ。京都大学理学部植物学科卒業、同大学院博士課程修了。京都大学教授、東京大学教授(および同附属植物園長)、立教大学教授を経て、兵庫県立人と自然の博物館館長。専門は植物学、特に植物分類学で、主にシダ植物を対象として研究。著書に『生命系—生物多様性の新しい考え』(岩波書店)、『文明が育てた植物たち』(東京大学出版会)など。

東京大学駒場キャンパス ● アクセス地図  
京王井の頭線「駒場東大前駅」下車



国立民族学博物館 ● アクセス地図  
大阪モノレール「万博記念公園駅」「公園東口駅」下車



### 関連イベント

- ① 日本民俗学会国際シンポジウム「オーラルヒストリーと〈語り〉」のアーカイブ化に向けて—文化人類学・社会学・歴史学との対話
  - 日時：2010年9月20日(月・祝) 13:00～17:40 / 会場：成城大学3号館
  - 登壇者：アルブレヒト・レーマン(ハンブルグ大学)、カリン・ヘッセ(ハンブルグ大学)、小林多寿子(一橋大学)、太田出(兵庫県立大学)、佐藤仁史(一橋大学)、山田巖子(弘前大学)、原山浩介(国立歴史民俗博物館)
- ② 関西学院大学シンポジウム「〈語り〉研究の最前線—日常・経験・意識をめぐる方法」
  - 日時：2010年9月26日(日) 13:00～16:40 / 会場：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスG号館301号教室
  - 基調レクチャー：アルブレヒト・レーマン ●コメンテーター：田中きく代、ハンス・P・リーダバハ、池埜聡、カリン・ヘッセ、八木康幸、島村恭則

詳細は日本民俗学会 HP (<http://www.soc.nii.ac.jp/fsj/>) をご覧下さい。